

## 6月の天候

2023年（令和5年）6月の日本の天候は、気温は北・東日本でかなり高く、西日本で高くなりました。降水量は東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と北・西日本太平洋側で多くなりました。日照時間は北日本太平洋側で多くなりました。

2023年（令和5年）6月の天候の特徴は以下のとおりです。

○気温は北・東日本でかなり高く、西日本で高くなりました  
気温は、上旬は暖かい空気が流れ込みやすく、中旬後半からは暖かい空気に覆われやすかったため、北・東日本でかなり高く、西日本で高くなりました。北日本では、1946年の統計開始以降、6月として1位の高温となりました。

○降水量は東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、北日本日本海側と北・西日本太平洋側で多くなりました  
降水量は、前線に向かって台風第2号から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で2日から3日にかけて記録的な大雨となった所もあったため、東日本日本海側と東日本太平洋側でかなり多く、西日本太平洋側で多くなりました。また、上旬に低気圧の影響を受けやすかった北日本日本海側と北日本太平洋側で多くなりました。

○日照時間は北日本太平洋側で多くなりました  
日照時間は、中旬後半から下旬にかけて高気圧に覆われやすく、この時期としては晴れた日が多かったため、北日本太平洋側で多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:1.15MB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202306\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko202306_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）  
電話 03-6758-3900（内線 4268）  
大気海洋部 気候情報課 担当 榎田（天候の解説について）  
電話 03-6758-3900（内線 4546）